



平成28年度京都大学防災研究所 一般研究集会「台風研究会」のご案内  
 一複合要因により巨大化する台風災害の実態解明と減災に向けて一

台風が関係する風水害は、台風の中だけでなくその周囲の広い範囲に及ぶことが指摘されています。昨年には台風21号による81 m/sの記録的な暴風が沖縄で観測されたほか、9月の関東・東北豪雨ではその発生に台風17号と18号による遠隔作用が指摘されています。本集会では様々な分野の研究者と、気象業務や報道現場などの実務者が一堂に集い、それぞれの視点からの研究成果を交わすことで、複合系台風災害のメカニズムの解明と対策を提案することを目的とします。興味と関心のある方は是非ご参加ください。

**研究代表者：**山田広幸（琉球大学理学部）  
**防災研担当者：**竹見哲也（京都大学防災研究所気象・水象災害研究部門）  
**主催：**京都大学防災研究所  
**日時：**2016年11月26日（土）、27日（日）  
**場所：**京都大学宇治キャンパス  
 防災研究所連携研究棟3階大会議室  
 （JR奈良線黄檗駅，京阪電車黄檗駅より徒歩約10分）

講演をご希望の方は、2016年10月3日（月）までに、講演題目や講演者名などの情報を合わせて下記の問い合わせ先メールアドレス宛にお申し込みください。旅費の支給をご希望の方は、その旨もお知らせください。参加のみご希望の方も、同様にご連絡ください。原則として講演者を優先させていただきます。支給できる旅費には限りがあるため、希望者数によっては完全にご希望に添えるとは限りませんので、ご了承ください。また、観光シーズンで混み合う時期ですので、早めに宿泊先を各自でご用意ください。

**問い合わせ先：**  
 山田広幸  
 E-mail：tcws2016@storm.dpri.kyoto-u.ac.jp  
 詳細については下記 Web をご覧ください。  
<http://www.dpri.kyoto-u.ac.jp/news/7646/>